

# 広報つばめ

Tsubame 

2023

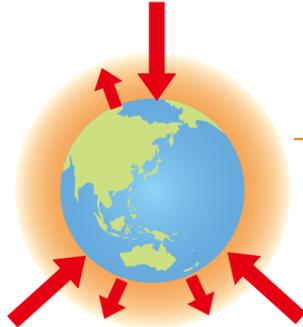
5

No.385



明日のために  
わたしたちが  
できること



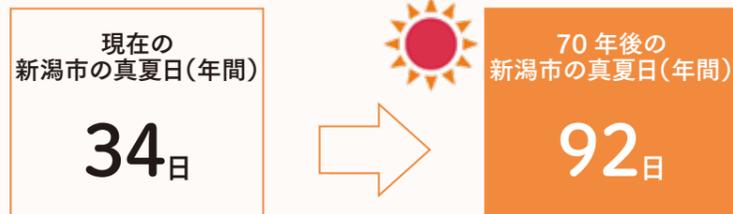


## 「温室効果ガス」と「地球温暖化」の関係性は?

地球温暖化の原因は二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」です。温室効果ガスが地球の周りにたまり、濃度が高まると、太陽からの熱が宇宙へ戻らず、地球の中に閉じ込められてしまい、気温が上昇してしまいます。

### 気温の上昇

温暖化対策を今より多くとらなかった場合、最高気温が 30℃以上となる真夏日の日数は更に増加することが予測されています。



年間で約3カ月は真夏日になってしまいます。

### 農作物への被害



美味しいお米が収穫できる新潟も、温暖化の影響を受けると稲の生育状況が悪化し、品質の低下が懸念されます。また、近年は異常気象による大雨や強風により、畑やハウスが冠水・倒壊するなどの被害も増えています。

### 健康への影響



身近な健康被害では、高温が続くことによる熱中症や、高温多湿の環境から起こる食中毒などがさらに増えると予想されます。

## このまま地球温暖化が進んでいくと…

地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、私たちの生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えています。身近なところでは、農作物などの食料生産、気温の上昇にもなう熱中症リスクやエネルギー需要の増加などあらゆる場面で影響が起こり始めています。



# 特集 ゼロカーボンシティを目指して ～一人ひとりのゼロカーボンアクション～



なんで私たちの行動が必要なの?

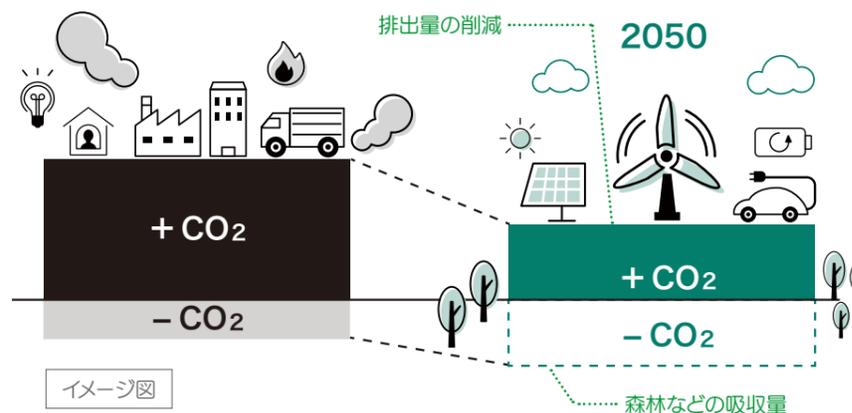
「脱炭素」と「私たちの暮らし」は関係ないと思っている人もいるかもしれませんが、実は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)をはじめとする温室効果ガスの排出は、一人ひとりの衣・食・住を中心とする「ライフスタイル」に起因しています。私たちの普段の生活の中で消費したり、製造や流通などの経済活動を行ったりする過程で生じるCO<sub>2</sub>が、地球温暖化を進めてしまうのです。私たちが、日常生活の中でちょっとした工夫をしながら無駄を省くことで、CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献することができます。

皆さんも、できることから地球温暖化対策として、カーボンニュートラルなライフスタイルに取り組んで行きましょう。



## そもそも…「カーボンニュートラル」ってなに?

温室効果ガスの排出量と吸収量を<sup>きんこう</sup>均衡させることを意味します



カーボンニュートラルは、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするというものです。「排出を全体としてゼロ」とは、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

## 燕市ゼロカーボンシティ宣言



市は、2022年6月14日に脱炭素社会の実現に向けて取り組みの強化を図るため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。官民が一体となって地球温暖化対策に取り組んでいきます。



燕市ゼロカーボンシティ宣言の全文はこちらからご確認ください。▶





### CO2の少ない商品・サービス

- 1 食料品、日用品など、環境配慮マークの付いた商品やCO2排出量を見える化して表示している商品を選ぼう。



### サステナブルなファッション

- 1 長く着られる服を選び、適切にケアをしながら大切にしよう。



### 4R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)

- 1 ごみは分別してリサイクルしよう。
- 2 マイボトル、マイバック、マイ箸、マイストローを使おう。
- 3 フリーマーケットやフリマアプリを活用しよう。



### 食品ロス削減

- 1 賞味・消費期限が切れる前、美味しいうちに食べよう。
- 2 地産地消で輸送距離削減。新潟の旬なものを食べよう。
- 3 買いすぎに注意しよう。



### CO2の少ない交通手段

- 1 車内の不要な荷物をおろして燃費をあげよう。
- 2 エコドライブを心がけよう。
- 3 エコカーの購入、買い替えを視野に入れよう。



### 環境保全活動

- 1 ごみ拾いなどの環境保全活動に積極的に参加しよう。
- 2 暮らしに植物や木を取り入れよう。



### エネルギーを節約・転換

- 1 電気のムダ使いを減らそう。
- 2 LED照明に替えよう。
- 3 ポットや炊飯ジャーのムダな保温をやめよう。
- 4 夏は室温28℃、冬は20℃を目安に冷暖房の温度設定を見直そう。
- 5 クールシェア・ウォームシェア\*をしよう。  
※涼しい場所や暖かい場所にみんなで集まりシェアすること
- 6 水の出っぱなしをやめよう。
- 7 お風呂は間隔をあげずに入り、残り湯は有効活用しよう。
- 8 髪はしっかりタオルドライしよう。
- 9 トイレを使わないときはフタを閉めよう。
- 10 冷蔵庫はゆとりある収納。ムダな開け閉めはやめよう。
- 11 宅配便はなるべく1回で受け取ろう。
- 12 省エネ製品を選ぼう。



### 太陽光パネル・省エネ住宅

- 1 新築・改修の際は省エネを意識した住まいを考えよう。

## 市民の皆さんも参加・利用できる市の取り組み



### ①カンカンBOOK事業・福服BOOK事業

事業所や市民の皆さんから寄附いただいた空き缶や古着の売却益で、市内保育園などに絵本を購入します。



リサイクル事業の詳細はこちら▶



### ②MONO<sup>2</sup>リユース事業

ごみの減量化、再利用化につなげるため、不用品のフリーマーケットや学用品のリユース会を開催します。



### ⑤天まで届け! 緑のカーテン

地球温暖化対策の一環として、緑のカーテンづくりをサポートするため、アサガオやゴーヤなどの種を無料で配布します。



### ③15・15(えちご・いちご)運動

宴会の最初と最後の15分は席を立たずに食事をする時間とし、食べ残しをなくすなどの食品ロスの削減に向けた取り組みです。



取組の詳細はこちら▶



### ⑥燕市住宅エコリフォーム支援事業

住宅の省エネ化を目的に実施する診断、設計、改修工事に対して補助金を交付します。



補助金の詳細はこちら▶



地域の人や子どもたち、団体が一緒になって、市内全域のごみ拾いや草刈りを年2回(4月・10月)行っています。ごみ問題を「自分事」として捉えるきっかけとなります。



各イベント・事業の開催日は決定次第、市ホームページや広報つばめでお知らせします。

●問合せ ①～⑤ 生活環境課 環境政策係 ☎ 0256-77-8167  
⑥ 営繕建築課 建築指導係 ☎ 0256-77-8282

できることから始めよう、暮らしを脱炭素化するアクション!

カーボンニュートラルの実現には、一人ひとりが環境問題について理解し、ライフスタイルを転換することが大切です。市民の皆さんが家庭でできるかなんな取り組みを紹介します。



### 「にいがたゼロチャレアプリ」でエコな生活を実践

このアプリは、カーボンニュートラルの実現に向けて、楽しく取り組んでもらうために新潟県が制作したオリジナルアプリです。アプリをダウンロードして、エコな生活を実践しましょう。



アプリのインストールは無料です。ただし、通信料は利用者のご負担となります。

iPhone版



Android版





しみす つよし  
燕市生活環境課 課長 清水 強

市の今後の取り組みを聞きました。

**家庭ごみの削減と産業界の自然エネルギー利用**

市として、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

燕市の二酸化炭素排出量は部門別で、家庭部門からは14%、運輸部門からは16%、産業部門は70%を占めています。そこで、これまでの各家庭からの焼却ごみの削減を目的とする、再資源化や再利用

**部門別に新たな取り組みを始める**

家庭部門へは、ごみの減量化や再利用化につなげるため、不用品のフリーマーケットや学用品のリユース会を企

画する「MONO2リユース事業」や、節電につながる「グリーンカーテン用の植物種」を無償で差し上げる取り組みを始めます。また、産業部門へは、企業の規模や業種の条件はありますが、「自家消費型太陽光発電利用促進補助事業」を新設し、事業者が再生利用の推進をいただける取り組みを開始します。

自家消費型太陽光発電利用促進補助事業の詳細はこちら▼



**子どもたちと植物を育てて意味を共有**

ごみ拾いや節電など一人で行うことはもちろん、それ以外にまちづくり協議会をはじめとする地域の人たちや子

一人ひとりが地球温暖化を意識した行動を起こしていくために、今起きている地球規模の環境変化や影響を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、理解を深めていくことが重要だと思っています。



近嵐さんが、地域のみなさんと育てているアイスとチューリップ(場所: 吉田小学校花壇)

子どもたち、学校関係者と一緒に「花などの植物を育てる」ことに取り組んでいます。緑を増やすことはCO2の吸収量を増やすことにもなりますし、地域コミュニティが形成され、そこに参加した若者や子どもたちが理解をすることで、環境活動の継承にもつながると思っています。この活動を今後も続けることで、「ゼロカーボンアクション」に取り組む人が一人でも増えたらうれしいです。



実践していることは、日頃の業務においてペーパーレス化や節電などをあたりまえに実施することで、社員一人ひとりの環境問題に対する意識改革を行っています。そのほか、太陽光パネルの設置やLED照明への変更、工場の天井に遮熱シートを施工し、冷暖房器具の使用を抑えるなど、エネルギーの節約・転換も実施しています。



▲導入されたLED照明と遮熱シート

これからは、インフラ整備の状況にもよりますが、営業用車両を電気自動車へ入れ替えたり、工場に使用する電力を自家発電・自家消費に転換するなどしたいと考えています。

カーボンニュートラルの実現には、地域が一体となって取り組んでいかなければいけません。太陽光発電の普及を推進することで、ゼロカーボンの実現に貢献していきたいと思っています。

**自分事に置き換えることからはじめる**

私は、「自分ができることを続けていく」をモットーに取り組んでいます。マイバツクの持参、節水、ごみの分別、地産地消などを意識していますが、地球温暖化対策はとても幅が広くそれぞれに理由があります。「ごみは分別しましょう」とか「節電をしましょう」など他人から行動を促さ

環境保全活動  
エネルギーを節約・転換  
4R (リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)

ちかあらし きゅうえい  
燕市環境審議会 元会長 近嵐 久榮さん

# #わたしのゼロカーボンアクション

市民や事業所が実施している取り組みを紹介します。

**エネルギーの節約・転換を実践**

- エネルギーを節約・転換
- 太陽光パネル・省エネ住宅
- CO2の少ない交通手段

エネルギーを節約・転換  
太陽光パネル・省エネ住宅  
CO2の少ない交通手段

はらだ まさし  
スワロー工業株式会社 代表取締役社長 原田 雅史さん

**電力の「地産地消」を進める**

SDGsの目標達成のために会社ができることは何かと考えていたときに、太陽光発電関連の事業を行っていることから、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組むことにしました。企業がカーボンニュートラルに取り組むことは、SDGsの目標の「エネルギーをみんなに。そして